

～今月の目次～

- ・ つなげ手ねっと! 今月の書き手は Weed Spirit 明石 貴幸さんです
- ・ ボラセンノート コロナ禍での芸術鑑賞



このコーナーは、毎月書き手を変えてボランティアのあんなこと、こんなことを述べていただきます!

タイトル 「個性があるから助け合える」

今月の書き手 Weed Spirit 代表 明石 貴幸

2010年中旬、知人がボランティア団体を発足させました。その団体活動のイベント「児童養護施設で子供たちとふれあう」に私が誘われたのが今の活動に至るきっかけでした。

その後私が代表を引き継ぎ、毎月1回、土曜又は日曜の1～2時間を利用し、子供達と参加者の個性を活かしながら自由に遊ぶ活動を児童養護施設で行っています。平均年齢は30歳くらいです。

近年、活動中いつも感じることがあります。昨今、年齢問わず一人の社会人としての在り方が改めて問われているような気がしてなりません。かつて日本地図作成の先駆けとなって「伊能忠敬」。諸説あると思いますが、天文学の分野に進む前は「造り酒屋」を営んでいて、経営再建に向け従業員に対し「お店の売り上げにならなくてもいいからお客様が喜んでくださることがあれば何でもしてください」と指導され、その後従業員がお酒を買いに訪れたお客様に「なにかお困りのことはありませんか?」という本来の仕事とは関係のない困り事を解決するなどの仕事も繰り返した。という話を本で読んだことがあります。このように私は仕事と社会貢献は元来とても身近にあるもので、表裏一体だと考えます。

私がボランティアをしていると知人に話すと、「すごいですね」という返事をされることがあります。何か特別な活動をしているかのような反応をされる事が多いです。そこに人の心の貧しさを感じてしまうこともあります。少なくとも、共に活動している方達にはボランティアをもっと身近なものに感じてもらえたらいいなと思います。そんな思いでこれからも活動していこうと思います。





TITLE：コロナ禍での芸術鑑賞

昨年の秋頃、とある博物館の特別展でぜひ見てみたい展示物があり、十分な感染対策をした上で足を運んで来ました。

このような状況下のため、美術館や博物館からは長らく足が遠のいていましたが、今回久々に行ってみてまずコロナ前と明らかに変わったと感じたのはチケットの取り方です。現在は、美術館や博物館で特別展を開催する場合は、館内での人の密集を避けるために事前にオンライン等で入場日時指定のチケットを枚数限定で販売することが増えたようです。

また、展示物の紹介を聴くことができる音声ガイドも、衛生面を考えてなのか、館内で借りられる従来の機械だけでなく、事前に自分のスマホに専用のアプリをダウンロードする形式のものを利用している方も多かったのが印象的でした。私もアプリを使ってみましたが、音声ガイドを現地で借りなくてよいため館内を回る際の手荷物が減ってとても便利でした。それに、普段自分が使っているスマホを音声ガイドとして使えるため、これならば目が不自由な方なども操作に手間取ることが減りそうだと感じました。

混雑を避けるためにあえて後半の展示から見て回ったり、それでも人が多く集まる場所では持参していた単眼鏡で人垣の後ろから展示物を覗いたり工夫が必要な場面もありましたが、短い時間の中で多くの素晴らしい作品に触れて楽しく過ごすことができました。

コロナ禍や世界情勢等の影響もあり、比較的大きな美術館や博物館でさえ、収蔵品を維持管理するための予算にはかなり厳しいものがあると先日ニュースで耳にしました。そしてこれは、恐らく音楽や演劇など他の芸術分野でも似たような状況なのではないかと思えます。なかなかそういった場所に足を運びづらいご時世ではありますが、大切な文化を守り、また後世に伝えていくためにも、自分にできる形で応援していきたいと思えます。

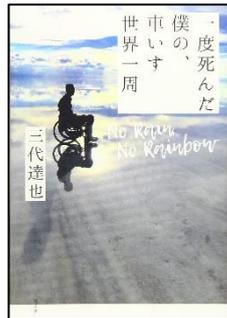
・・・編集後記・・・

2月に入り、少しずつ暖かさを感じる日も増えて来ましたね。晩冬の季語に「三寒四温」という言葉がありますが、これからの時季は寒さと暖かさが交互にやってくる事が多く、体調を崩しやすくなります。①適度に体を動かす、②毎日湯船に入る、③食べ物や飲み物で積極的に体を温める、というのが不調を予防するコツだそうですので、ぜひお試しください。



あいつピア 2階ライブラリー おすすめピックアップ！

ライブラリーでは、利用者登録をすると無料で本を借りることができます。



『一度死んだ僕の、車いす世界一周』 三代 達也（光文社）

石畳地獄のヨーロッパ、迷宮の世界遺産、尻に鞭打つ長距離列車……。世界はバリアにあふれている。バイク事故で頸椎損傷、車いす人生となった著者が、絶望から10年を経て車いす単独世界一周を果たすまでの旅の記録。



編集・発行

豊橋市社会福祉協議会 ボランティアセンター

〒440-0055 豊橋市前畑町 115

TEL (0532) 52-1111 FAX (0532) 52-1112

MAIL info@toyohashi-shakyo.or.jp

HP https://www.toyohashi-shakyo.or.jp/

ボランティアセンター
公式 LINE アカウント

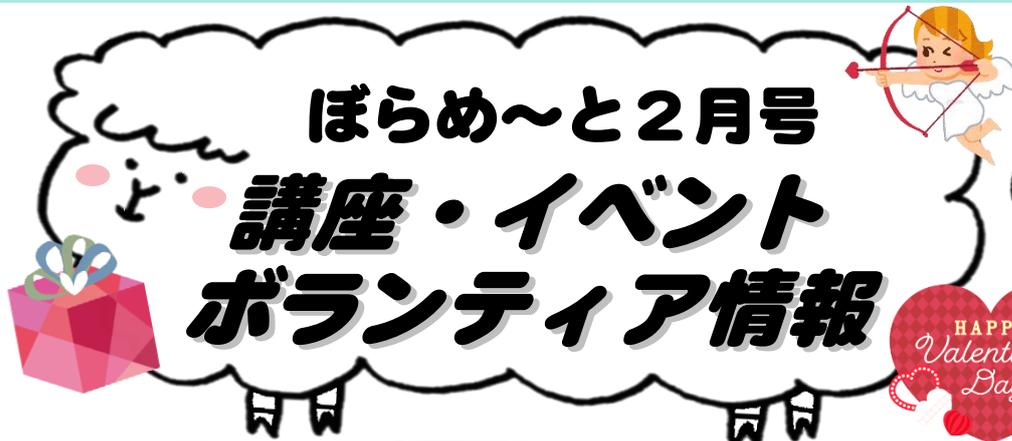


@toyohashi-shakyo_v

ぼらめ〜と2月号
講座・イベント
ボランティア情報

編集・発行
豊橋市社会福祉協議会
ボランティアセンター
TEL (0532) 52-1111
FAX (0532) 52-1112
〒440-0055
豊橋市前畑町 115

HAPPY Valentine's Day



☆豊橋市社会福祉協議会ボランティアセンター 公式LINEアカウント☆

お友だち 1,650人達成！！皆様のご登録お待ちしております♪

QRコード

登録方法①LINEを起動する→その他→友だち追加→ID検索

→@toyohashi-shakyo_vを入力

登録方法②LINEを起動する→その他→友だち追加→QRコード

→右のQRコードを読み取る



新型コロナウイルス感染症の影響により、急な講座の中止・延期・内容変更の場合がございます。予めご了承くださいませよう、よろしくお願い申し上げます。

おもちゃ図書館ボランティア養成講座

おもちゃ図書館の運営やおもちゃの貸出・整理・消毒などを行うボランティア活動の養成講座です。おもちゃの魅力やボランティアの必要性について学びます。

日時 2月18日(土) 13:30~15:30

場所 総合福祉センターあいトピア(前畑町115)

講師 愛知県おもちゃ図書館連絡協議会会長 高村 豊氏

定員 20名(申込順)

参加費 無料

締切 2月15日(水)



ボランティアはじめの一步セミナー

ボランティアを始めるきっかけづくりのためのセミナーです。様々なボランティア団体の紹介のほか、メンバーの方々と直接面談ができる時間もあります。既に活動中の方も、他団体の活動者と交流ができる貴重な機会ですので、ぜひご参加ください！

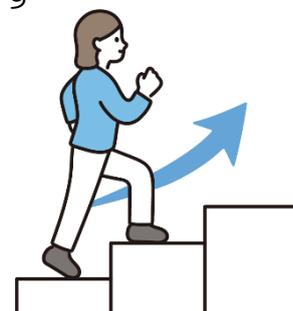
日時 3月4日(土) 14:00~16:00

場所 総合福祉センターあいトピア(前畑町115)

定員 30名(申込順) 参加費 無料

参加団体 12団体を予定

締切 定員に達するまで





「脳の健康教室」学習サポーター

教室で高齢者と楽しくコミュニケーションをとりながら、認知症予防のための簡単な読み書き計算のお手伝いと、教室の運営をしていただくボランティア「学習サポーター」を募集します。

研修会日時 3月10日（金）13：00～16：45

※活動を始めするには研修会へのご参加が必要です

研修会会場 総合福祉センター あいトピア（前畑町115）

活動時間 4月～8月の週1回 午前中（牟呂のみ午後）の3時間程度

ところ あいトピア・八町・つつじが丘・大清水・牟呂地域福祉センター

参加費 無料

締切 3月2日（木）



手話体験講習会 ～手話ってなあに？～

簡単な手話（あいさつ、自己紹介など）や聴覚障害者の生活などについて、楽しく学べます。手話に興味のある方、初めての方でも大丈夫です。お気軽にお申込みください。

日時 ①3月18日（土）10：00～12：00 小学生対象（保護者の同伴可）

②3月19日（日）10：00～12：00 中学生～大人対象

ところ 総合福祉センターあいトピア（前畑町115）

定員 各20名（申込順）

参加費 無料

締切 3月9日（木）



あいトピア ライブラリーのご案内

あいトピア2階のライブラリーでは、主に福祉を題材とした図書やDVD等の貸し出しを行っています。どなたでもご利用いただけますので、ぜひご覧ください！

【貸し出しできる数と日数】

- ・図書：1回につき3冊、15日間まで
- ・ビデオ・DVD：1回につき5本、8日間まで

【利用可能日】

火～日曜日 9：00～21：00

※月曜日は休館日のため利用不可。なお、月曜日が祝日の場合は翌平日が休館日です。

【その他】

初回の利用の際は利用者登録が必要となりますので、身分証明書をお持ちください。



最新情報は、随時ホームページにアップしています！

豊橋市社会福祉協議会

🔍 検索

講座のお問合せ・お申し込みは

豊橋市社会福祉協議会へ



TEL(0532)52-1111